

## 指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター	対象年度	令和4年度
------	-----------------------	------	-------

### 【 目 次 】

<b>I. 履行確認・評価</b>		
1.	維持管理業務	2
	(1) 清掃	
	(2) 保守・点検	
	(3) 保安・警備	
	(4) 小規模修繕	
	(5) 備品購入	
	(6) 防犯・防災対策	
	(7) 料金徴収業務	
2.	運營業務	5
	(1) 利用実績	
	1) 利用者数等（又は入居率等）	
	2) 施設稼働率	
	3) 教室・イベント等参加者数	
	(2) 運営企画	
	(3) 受付・接客	
	(4) 広報	
	(5) 情報管理	
	(6) 企業支援	
3.	自主事業	8
<b>II. サービスの質の確認・評価</b>		9
<b>III. 財務状況の確認・評価</b>		11
1.	事業収支	
	(1) 収入	
	(2) 支出	
2.	経営分析指標	
<b>IV. 総合評価</b>		13
1.	目標	
2.	評価結果	
附表	経営状況分析シート	14

※必要に応じて項目を追加・削除する。

## 指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター	対象年度	令和4年度
指定管理者	バイオセンター運営共同体 構成員名 一般社団法人トロピカルテクノプラス ヤシマ工業株式会社 指定期間:2018年4月～2023年3月	所管課	商工労働部 ものづくり振興課

## I. 履行確認・評価

## 1. 維持管理業務

## (1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書等)	(現地確認)		
〈日常清掃〉	○		土日祝祭日を除き、清掃員1名で実施。センタースタッフも参加。	関係書類等の確認により適切に実施されている。	事業計画のとおり実施されている。	ロビーやトイレ、階段等の共用部分及び事務室について、清潔さが保持されている。日報等の関係書類も、整理・保管されている。今後も館内を清潔に保つため適切に対応する必要がある。
〈定期清掃〉	○	○	ワックス塗布:2回/年 カーペット清掃:2回/年 除草:6回/年 窓ガラス清掃:2回/年 適宜スタッフ対応			

## (2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書等)	(現地確認)		
分析機器・実証機器の保守管理 特殊実験室の保守管理	○		分析機器・実証機器の日常保守管理 日常点検、第一種圧力容器の法定検査	関係書類等の確認により適切に実施されている。	事業計画のとおり実施されている。	業務仕様書に基づき指定管理者及び委託業者による点検が実施されている。委託業者からの業務完了報告書は適正に受理され、整理・保管されている。今後も適宜必要に応じて点検を実施する必要がある。
受変電設備点検		○	定期点検:1回/月 年次点検:1回/年			
空調設備点検	○		定期点検:2回/年			
昇降機点検		○	遠隔点検:1回/月 定期点検:4回/年 定期検査:1回/年			
消防設備点検	○		機器点検:1回/年 総合点検:1回/年 (機器点検も実施)			
空気環境測定	○		定期検査:1回/月			
貯水槽点検	○		定期点検:1回/月 定期清掃:1回/年			
水質検査	○	○	定期検査:2回/年 簡易水道検査:1回/年 水質検査・残塩測定:1回/月			

## (3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書等)	(現地確認)		
中央監視装置等による設備管理、防災、空調、その他設備機器の保守管理	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>○総合設備管理</li> <li>○空調機器点検</li> <li>○消防用設備点検</li> <li>○自家用電気工作物の保安</li> </ul>	関係書類等の確認により適切に実施されている。	事業計画のとおり実施されている。	業務仕様書に基づき委託業者による点検が実施されている。当該業者からの業務報告書は適正に整理・保管されている。また、24時間体制で機械警備が実施されている。関係書類も適正に整理・保管されている。今後も施設の保安・警備について、適切に対応する必要がある。
機械警備		○	○閉館時間帯を含む24時間体制で機械警備(セコム)を実施し非常時対応できる体制を整えている。			

## (4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書等)	(現地確認)		
施設の修繕を実施	○		空調設備、防災設備、設備関連、機器関連等の修繕を実施	関係書類等の確認により適切に実施されている。	1件50万円未満の修繕については、指定管理者の予算内において適切に実施されている。	今後も県と指定管理者による調整により、修繕の優先順位を定め、適切に実施する必要がある。

## (5) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書等)	(現地確認)		
火災予防 巡回点検 入居者情報提出 来訪者等の確認 駐車場管理	○		<p>○防火管理者主導による消防訓練実施。</p> <p>○設備管理者職員により毎日の開館閉館時に巡回点検の実施。</p> <p>○来訪者に対しての入口での確認の実施。</p> <p>○年度初めに、入居企業から安全管理リストの提出を求め、駐車場使用車両の確認。不審車両や放置車両対策として職員による巡回確認を実施。</p>	事業報告書等のとおり実施されている。	事業計画のとおり実施されている。	火災防止について、自衛消防隊を組織し、消防訓練が適切に実施されている。施錠・鍵の保管について、指定管理者が確認作業を実施しており、来訪者についても、随時確認が行われている。入居者・指定管理者の安全を確保するため、今後も安全管理を適切に実施する必要がある。

## (6) 料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書等)	(現地確認)		
利用料金の徴収及び返還、キャンセル等について対応する。	○		利用料金の徴収及び返還、キャンセルについて、適時適切に対応した。	事業報告書等のとおり実施されている。	事業計画のとおり実施されている。	適切に利用料金等の徴収・返還・キャンセル業務が行われている。また、関係書類についても適切に整理・保管されている。今後も継続して適切に料金徴収を行う必要がある。
施設利用料及び光熱水費等について入居者等から徴収を行う。	○		施設利用料及び光熱水費等について適時適切に徴収を行った。			

※必要に応じて項目を追加・削除して記入すること。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

1. 維持管理業務 取組改善案	各項目とも適切に対応している。今後も適切な施設の管理運営に取り組む必要がある。
--------------------	---

※「1. 維持管理業務」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R5年度)の主な取組改善案を記入すること。

## 2. 運営業務

## (1) 利用実績

## 1) 入居率等 ※利用者数等で測れない施設は「1) 利用者数等」に代えて記載

	R3年度実績	事業計画 (目標値)	R4年度実績	整合性の検証		現状分析・課題
				前年比	計画比	
入居率 16室/16室	15室	16室	16室	107%	100%	事業拡大による工場移転及び振興センターへの事業集約にともない計2社退去したが、3社新規入居し満室となった。
入居率等を①利用状況の評価項目とする場合に本欄を使用する。				評価(①利用状況)		S

【評価基準】  
①利用状況  
目標値に対する達成率  
S : 110%以上、もしくは満室  
A : 100%以上、110%未満  
B : 80%以上、100%未満  
C : 80%未満

## 2) 施設稼働率

	R3年度実績	事業計画 (目標値)	R4年度実績	整合性の検証		現状分析・課題
				前年比	計画比	
平均稼働率	(施設) 年間平均稼働率:67%	年間平均稼働率 70%以上	(施設) 年間平均稼働率:69%	103%	99%	コロナ禍の状況の中、R4年度の施設稼働率は事業計画近くまで回復した。 機器使用数については、前年度より少ないが、1回当たりの利用時間が増えており、稼働率の上昇につながっている。
	(機器) 年間平均稼働率:14% 《内訳》 研究機器:22%(288回/月平均) 実証機器:6%(50回/月平均)	年平均稼働率 12%以上	(機器) 年間平均稼働率:18% 《内訳》 研究機器:27%(251回/月平均) 実証機器:8%(49回/月平均)	129%	150%	
平日・土日祝日別稼働率						
施設稼働率を①利用状況の評価項目とする場合に本欄を使用する。				評価(①利用状況)		S

【評価基準(①利用状況)】  
目標値に対する達成率  
S : 110%以上  
A : 100%以上、110%未満  
B : 80%以上、100%未満  
C : 80%未満

## 3) 教室・イベント等参加者実績

	内容	R3年度実績	事業計画	R4年度実績	整合性の検証		現状分析・課題
					前年比	計画比	
機器講習会等	機器利用説明会等	令和3年4月18日 「小型キャピラリー電気泳動シーケンサー DS3000」 参加者:5名(入居者:5名) 達成率:100%(目標値:5名)	講習会開催 4回/年	令和4年9月13日 「FT-TRを用いたマイクロプラスチック分析実習」 参加者:19名(入居者:1名) 達成率:95%(目標値:20名)	133%	100%	事業計画通りに開催し参加者数もおおむね目標値に達している。 今後も利用者のニーズを把握し、適切な講習会を行うとともに、多くの利用者に周知を行う必要がある。
		令和3年4月18日 「小型キャピラリー電気泳動シーケンサー DS3000」 参加者:5名(入居者:1名) 達成率:100%(目標値:5名)		令和4年12月7日 「LC/MS/MSはここまで使える!!使いこなしのポイント」 参加者:9名(入居者:4名) 達成率:90%(目標値:10名)			
		令和3年12月3日 入居企業支援セミナー オンライン開催 参加者:33名(入居者:7名) 達成率:110%(目標値:30名)		令和5年2月2日 企業支援(知財の戦略的活用 のポイントとは?) 参加者:11名(入居者:3名) 達成率:110%(目標値:10名)			
				令和5年3月8日 企業支援(国の施策を自社の 研究開発・事業化に活用 してみませんか!) 参加者:18名(入居者:4名) 達成率:90%(目標値:20名)			

	内容	R3年度実績	事業計画	R4年度実績	整合性の検証		現状分析・課題
					前年比	計画比	
活性化 会議	入居企業との連絡会	令和3年9月28日 参加者:15社33名 達成率:100%(目標値:15社/15社) ※オンライン開催	2回/年	令和4年9月15日 参加者:15社19名 達成率:100%(目標値:15社/15社)	100%	100%	新型コロナウイルス流行の影響によりR3年度はオンライン開催したが、R4年度は実地開催し参加者数もおおむね目標値に達している。
		令和4年3月2日 参加者:12社26名 達成率:80%(目標値:12社/15社) ※オンライン開催		令和5年3月14日 参加者:15社23名 達成率:93%(目標値:15社/16社)			
防災訓練等	地震・津波防災訓練	令和3年11月5日 「沖縄県広域 地震・津波避難訓練」へ参加。地震・津波発生時の避難経路の確認。	防災訓練 1回/年	令和4年11月2日 「沖縄県広域 地震・津波避難訓練」へ参加。地震・津波発生時の避難経路の確認。	100%	100%	海に隣接していることもあり、防災管理・津波等への対策を、今後も徹底する必要がある。
	消防訓練	令和3年12月11日 参加者:15名/15名 (参加率:100%) ※コロナ感染拡大防止の為、指定管理者のみで実施	消防訓練 1回/年	令和5年1月18日 参加者:33名/33名 (達成率:100%)	100%	100%	
計					108%	100%	

## (2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(事業報告書等)	(現地確認)		
〈開館日数〉	243日 (土日祝祭日・年末年始休暇 12/29日～1/3日を除く)	事業報告書等のおりである。	事業計画のとおりである。	適切な会館日数、開館時間である。
〈開館時間〉	8時30分から17時00分			

## (3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書等)	(現地確認)		
入居企業からの相談や苦情に真摯に対応する。また、入居を検討している企業や見学者に対しても、丁寧な接客を行うよう十分配慮する。	○		入居活性化会議、ヒアリング等を行い、相談や苦情等にも随時対応した。日常的にコミュニケーションをとるよう心掛け、良好な関係を保つよう努めた。	事業報告書等のおり実施されている。	事業計画のとおり実施されている。	利用者からの評価は良好であることがアンケートの結果から確認できた。今後も入居者・外部利用者・視察者との良好な関係を維持し、丁寧な対応をする必要がある。
			アンケートを実施し、入居企業の要望に答える体制を取った。			
			高度分析器・実証機器の専門知識を有するスタッフによる、技術サポートを行った。			
			視察や見学についても随時受け入れを行い、141名の視察者に対応した。			

(4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書等)	(現地確認)		
HP、チラシ、各種イベント等を利用した広報活動	○		第13回 ヘルスケア・医療機器開発展【東京】 令和4年6月22日～6月24日 東京ビッグサイト 新規入居企業の発掘、情報収集、施設のPR(名刺交換:13社)			
			うるま市産品即売会 令和4年7月8日～7月10日 イオン具志川 新規のPR、入居企業の事業内容紹介(名刺交換:19名)			
			第4回 再生医療EXPO【東京】 令和4年7月13日～7月15日 東京ビッグサイト 新規入居企業の発掘、情報収集、施設のPR(名刺交換:20名)			
			第3回 化粧品開発展【大阪】 令和4年9月28日～9月30日 インテック大阪 新規入居企業の発掘、情報収集、施設のPRを行った。(名刺交換:15名)			
			イノベーション・ジャパン2022～ビジネスマッチング～ 和4年10月4日～31日 オンライン出展 新規入居企業の発掘、情報収集(施設PRメッセージ送信34社)			
			Bio Japan/再生医療 JAPAN/healthTECH Japan2022 和4年10月12日～14日 パシフィコ横浜 新規入居企業の発掘、情報収集施設のPR(名刺交換:78名)			
			第46回沖縄の産業まつり 令和4年10月21日～23日 奥武山公園・県立武道館 施設のPR、入居企業紹介(名刺交換:49名)			
			メディカルクリエーションふくしま2022 令和4年10月27日～28日 ビッグパレットふくしま 新規入居企業の発掘、情報収集、施設のPR(名刺交換:37社)			
			第13回 化粧品開発展【東京】 令和5年1月11日～13日 東京ビッグサイト 新規入居企業の発掘、情報収集、施設のPR(名刺交換:8社)			
			第18回 うるま市産業まつり 令和5年1月28日～1月29日 イオン具志川・うるマルシェ、沖縄工業技術センター、他 施設のPR、入居企業の事業紹介(パネル展示、施設パンフレット)			
第9回 再生医療EXPO【大阪】 令和4年3月8日～3月10日 インテックス大阪 新規入居企業の発掘、情報収集、施設のPR(名刺交換:13名)						

事業報告書等のおり11回実施されている。

事業計画のとおり県内外で広報活動を行っている。

県内外の展示会やイベントに参加し施設のPRを行っている。  
今後も入居率、機器の稼働率を高めるとともに、入居企業の事業拡大に向けて各種イベントに参加し、施設のPR・情報発信を継続的に実施する必要がある。

## (5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書等)	(現地確認)		
個人情報書類等は適正な情報管理に努める。	○		個人情報書類等は施錠可能なキャビネットに保管し、情報漏洩がないように努め、取扱いには細心の注意を払った。	事業報告書等のおり実施されている。	事業計画のとおり実施している。	施錠可能なキャビネットに保管し、情報漏洩の無いよう努めている。個人情報については、今後も鍵付きの保管庫に収納し、慎重に管理する必要がある。

## (6) 企業支援

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書等)	(現地確認)		
【継続】 企業支援業務の実施	○	○	相談件数:122件 ○技術・商品開発へのアドバイスや情報提供、センター機器紹介。	企業支援業務については事業報告書等のおり実施されている。	企業支援業務については事業計画のとおり実施している。	昨年度は新型コロナウイルスの影響により事業見直し等の相談が多かった。今年度はコロナ禍が落ち着き相談件数が減少し、目標値を下回った(R4:122件、R3:212件、目標値:170件)。今後は利用者からの聞き取りを行うなど、課題やニーズ把握に努める必要がある。企業と密なハンズオンが必要なBi-1グランプリは、感染拡大防止のため活動を自粛した。新型コロナウイルスが落ち着き次第、取り組むことで設置機器の活用方法を周知する必要がある。
【継続】 課題解決・機器利用促進の取組み(Bi-1グランプリの実施)	○		新型コロナによる感染拡大防止のため、活動を自粛。			

## 3. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書等)	(現地確認)		
【継続】 受託加工試験の実施	○		実施件数:28件 ○発酵試験、抽出試験、乾燥・粉末加工、レトルト無菌試験等	事業報告書等のおり実施されている。	事業計画のとおり実施している。	昨年度より受託加工試験は8件増加した。受託加工試験の実施は機器稼働率を高めるとともに、新規顧客等利用者を増やすことにもつながるため、引き続き実施する必要がある。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入してください。

2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案	事業計画に基づき適切に実施している。施設稼働率向上のためにも、さらに設置機器の稼働率向上を目指す必要がある。そのためにも、機器利用の簡便な手続きや料金の減免、利用者ニーズに合った機器講習会開催等、利用しやすい環境づくりを心掛ける必要がある。ただし、費用対効果を念頭に入れ、コストのかかりすぎに注意する必要がある。
-----------------------------	--

※「2. 運営業務」「3. 自主事業」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(R5年度)の主な取組改善案を記入してください。



## Ⅱ. サービスの質の確認・評価

アンケート実施方法		入居企業の利用者を実施		回答者数	56名	アンケート内容	別紙参照
評価項目	第三者(利用者等)評価				指定管理者	現状分析・課題	
	R3年度評価	R4年度目標	R4年度評価				
維持管理業務	施設・設備管理	<満足度>91%(※1) ・満足:63% ・やや満足:28% ・やや不満:8% ・不満:1% アンケート回答率 96%(53名/56名)	<満足度> 80%以上を目指す	<満足度>88%(※1) ・満足:53% ・やや満足:35% ・やや不満:9% ・不満:3% アンケート回答率 98%(55名/56名)	A	(要望への対応) 改善要望の自動扉については、令和5年度で修繕を進める計画である。エントランスの空調については、全館空調機の大規模な改修にあたるため所管課へ予算措置の要望し、利用者の負担軽減になる対策を検討していきたい。 虫の浸入については、発生時の対応、侵入経路の補修等、業者と相談して対応していく。 (自己評価) 「常に機器類がメンテナンスされている」「対応が早くて助かっています」という意見がある一方、共用開始から20年が経過し、設備や備品等で経年劣化による不具合や故障等の頻度が多くなってきている。軽微な修繕については早急な回復、迅速な対応を心掛けてはいるが、高額な修繕については所管課へ要望し、早急に対応ができるように調整していきたい。 今後も所管課との連携を密にとり、利用者に満足いただけるように施設の維持管理に努めていく。	今回改善要望で挙げられた件について、コスト面や収支面で迅速な対応が難しいこともあると思われるが、指定管理者と情報交換を行い優先順位をつけて、随時修繕等の対応を実施していく必要がある。
運営業務	接客対応	<満足度>100%(※1) ・満足:92% ・やや満足:8% ・やや不満:0% ・不満:0% アンケート回答率 93%(52名/56名)	<満足度> 80%以上を目指す	<満足度>96%(※1) ・満足:85% ・やや満足:11% ・やや不満:2% ・不満:2% アンケート回答率: 98%(55名/56名)	S	(要望への対応) 特になし (自己評価) 入居者、訪問者、会議室利用者に対しては、日々丁寧な接客に努めており、「親切に対応してもらっている」「対応がよい」「挨拶をかえしてくれる」等の意見をいただいております。今後も利用者目線に立った丁寧な接客を心掛ける。 今後も、お客様の満足につながるような対応を心掛けて、今後も利用者に評価頂けるよう丁寧な対応を続けていく。	接客対応の満足度は高い数値を示しており利用者の満足度の高さが伺える。 今後も入居者より良い関係が築ける丁寧な対応をする必要がある。
	施設・設備	<満足度>83%(※1) ・満足:45% ・やや満足:38% ・やや不満:15% ・不満:3% アンケート回答率 71%(40名/56名)	<満足度> 80%以上を目指す	<満足度>86%(※1) ・満足:48% ・やや満足:38% ・やや不満:5% ・不満:10% アンケート回: 72%(40名/56名)	A	(要望への対応) 修繕等については、軽微なものについては早急な原因究明や復旧に努めているが、費用が高額になるものについては、所管課と相談の上、対応していく。 機器の利用においては、利用者が効率的に使用できるよう利用者間の調整等を行っているが、より利用者が有効に機器を活用できるような取組を進めていく。 (自己評価) 分析機器や実証機器には導入から十数年経過し、メーカーサポートが終了している設備もある。修繕部品の調達ができなくなっているものや新型コロナウイルスの影響による物流、納期にかかる部品調達の困難さも出てきている。今後も所管課と連携を密にして利用者に満足いただけるように施設の維持管理に努めていく。	施設・設備の修繕については、指定管理者と情報交換を行い優先順位をつけて、随時修繕を実施する必要がある。
	利用条件	<満足度>81%(※1) ・満足:64% ・やや満足:17% ・やや不満:14% ・不満:5% アンケート回答率 77%(43名/56名)	<満足度>80%以上を目指す	<満足度>90%(※1) ・満足:60% ・やや満足:30% ・やや不満:7% ・不満:2% アンケート回答率: 76%(43名/56名)	S	(要望への対応) ペーパーレスや押印については、様式を見直し押印について簡略化を行っている。ペーパーレス及び文書保管方法については、所管課と調整の上、対応を検討していきたい。 (自己評価) 入居者、訪問者、会議室利用者に対しては、日々丁寧な接客に努めており、「わかりやすく利用しやすい」「簡単に予約ができる」等の意見をいただいている。 今後も、お客様の満足につながるような対応を心掛けて、今後も利用者に評価頂けるよう丁寧な対応を続けていく。	ペーパーレス等については指定管理者と情報交換を行い対応を検討していく必要がある。 利用者の要望に適宜対応し、利用者が利用しやすい環境を整える必要がある。

イベント等	〈満足度〉100% (※1) ・満足:50% ・やや満足:50% ・やや不満:0% ・不満:0% アンケート回答率 14%(8名/56名)	〈満足度〉 80%以上を目指す	〈満足度〉90% (※1) ・満足:30% ・やや満足:60% ・やや不満:10% ・不満:0% アンケート回答率: 18%(10名/56名)	S	(要望への対応) 改善要望については、早めの案内を心がけ、多くの方に参加頂ける用に努めていく。 当センター以外での他機関で開催されるイベント・講習会やセミナーについても、メールでの案内やポスター案内等積極的に情報提供を行い入居者に活用いただけるよう引き続き周知に努めていく。  (自己評価) イベント・セミナー等については、利用者や入居企業からの要望を抽出し、内容を検討の上、実施してきたことから、企業の満足度に繋がっている。	今後も企業の成長につながるようなセミナー等を開催する必要がある。また、できるだけ多くの入居者が参加できるよう、事前の開催案内を今後も適切に行っていく必要がある。
評価項目	第三者(利用者等)評価			指定管理者	現状分析・課題	
	R3年度評価	R3年度目標	R4年度評価			
自主事業	〈満足度〉100% (※1) ・満足:80% ・やや満足:20% ・やや不満:0% ・不満:0% アンケート回答率 89%(50名/56名)	〈満足度〉 80%以上を目指す	〈満足度〉100% (※1) ・満足:71% ・やや満足:29% ・やや不満:0% ・不満:0% アンケート回答率 87%(49名/56名)	S	(要望への対応) 特になし  (自己評価) 自主事業(施設内サービス)については、入居企業から高い評価を得られていることから引き続き満足して頂けるようなサービスを提供していく。 自主事業(受託加工・試験)の獲得にむけて、企業に積極的にPRを行っていくとともに、利用者の様々な相談に対応できるようスタッフの技術スキル向上にも努めていく。	自主事業(受託加工・試験)については満足度100%と非常に高い評価を得られている。自主事業に関して相談しやすい環境を引き続き整える必要がある。
総合評価 (各評価項目の平均)	〈満足度〉 92.5%	〈満足度〉80%以上を目指す	〈満足度〉 91.6%	評価 (②満足度)	共用開始から20年を経過し、設備・機器等の老朽化による不具合の頻度が多くなってきている。 特に高額な修繕費がかかる施設・設備については所管課との調整が必要のため、長期的に修繕ができない状況が続いている箇所もあり、利用者からの不満の声がでている。必要な修繕箇所については引き続き所管課に要望し、継続的に使える施設の維持に引き続き取り組んでいく。 運営業務においては、満足度が90%を超えており、運営に関して、一定の評価を頂けていることから、今後も入居企業や利用者との良好な関係作りを続けていくとともに、迅速、丁寧な対応をこころがける。 これまで、新型コロナウイルス感染症の影響下で延期・中止を余儀なくされていた企業対応やセミナー、交流会等について、各企業の要望等を勘案した上で企業支援につながる取り組みを進めていく。	県との協定に基づき、指定管理業務について適切に実施されている。全般的に入居者からの満足度も高く、コミュニケーションも十分図られていると考えられる。 指定管理者単独では対応できない高額な修繕費がかかる箇所等については、コスト面や収支面で迅速な対応が難しいこともあると思われるが、指定管理者と連携し対応していくことで、サービスの向上に努めていく必要がある。

※評価項目については、施設の態様に依りて適宜設定すること。  
※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

【評価基準 (②満足度)】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均  
各評価項目においてはそれぞれの満足度  
S : 90%以上  
A : 80%以上、90%未満  
B : 70%以上、80%未満  
C : 70%未満

※満足度とは、指定管理者が提供するサービスに対する利用者の満足度のことをいうものとし、回答選択肢のうち、中位を超える割合により算定するものとする。

Ⅱ. サービスの質の確認・評価 取組改善案	アンケート結果から施設管理、接客対応、イベント等について入居者から高い評価を得られていることが分かる。今後も引き続き入居者とのコミュニケーション、信頼関係の構築をはかり管理運営する必要がある。また、挙げられた改善要望については県と指定管理者で協議し適宜対応する必要がある。
--------------------------	--

※「Ⅱ. サービスの質の確認・評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(令和5年度)の主な取組改善案を記入すること。

## III. 財務状況の確認・評価

## 1. 事業収支

## (1) 収入

収入項目		R3年度実績	事業計画 (当初)	事業計画 (変更後)	R4年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項(変更理由等)
利用料金収入	研究室	38,317,015	40,189,820	-	40,535,110	106%	101%	
	実証室	3,562,807	4,254,414	-	4,253,928	119%	100%	
	会議室利用料	1,763,420	1,650,000	-	1,431,540	81%	87%	
	機器利用料	10,043,589	8,720,000	-	12,721,297	127%	146%	
計		53,686,831	54,814,234	-	58,941,875	110%	108%	
水道光熱費		11,457,169	11,030,000	-	11,967,424	104%	108%	
塵芥料		264,000	250,000	-	267,000	101%	107%	
指定管理料		38,530,000	38,530,000	-	38,530,000	100%	100%	
自主事業収入等		2,558,800	2,340,000	-	3,089,080	121%	132%	
合計(A)		106,496,800	106,964,234	-	112,795,379	106%	105%	

## 〈現状分析・課題〉

令和4年度においては入居率の向上等により収入増につながっている。機器利用料収入や自主事業収入はR3年度実績や事業計画を上回っており、機器利用や自主事業の広報を積極的に行っていることが見受けられる。今後とも企業誘致・機器利用促進等を積極的に行う必要がある。

## (2) 支出

支出項目	R3年度実績	事業計画 (当初)	事業計画 (変更後)	R4年度実績	前年比 (%)	対計画比 (%)	特記事項(変更理由等)
人件費	39,241,000	40,422,424	-	40,376,304	103%	100%	
通信運搬費	445,771	450,000	-	508,296	114%	113%	
広告宣伝費	5,000	200,000	-	33,410	668%	17%	
会議費	11,880	65,000	-	68,692	578%	106%	
旅費交通費	163,775	342,000	-	210,699	129%	62%	
消耗品費	5,197,799	5,500,000	-	5,780,460	111%	105%	
修繕費	7,800,760	6,000,000	-	5,939,761	76%	99%	
水道光熱費	22,918,485	24,133,000	-	23,502,574	103%	97%	
新聞図書費	121,800	143,800	-	121,800	100%	85%	
支払手数料	66,835	60,000	-	69,755	104%	116%	
印刷製本費	14,540	300,000	-	575,118	3955%	192%	
謝金	528,000	598,000	-	528,000	100%	88%	
保険料	135,050	140,000	-	126,260	93%	90%	
委託費	13,749,460	17,042,400	-	16,372,290	119%	96%	
施設管理費	8,992,500	8,992,500		8,992,500	100%	100%	
租税公課	2,000	2,000	-	3,000	150%	150%	
リース料	921,667	961,776	-	961,776	104%	100%	
自主事業支出	-	1,300,000	-	1,760,213			- R4年度より計上
雑損失							
合計(B)	100,316,322	106,652,900		105,930,908	106%	99%	

## 〈現状分析・課題〉

コロナ禍だが実地で広報活動が可能となったため、広告宣伝費や会議費、印刷製本費等が前年比増となっている。とくに印刷製本費は料金改定等に伴い機器利用パンフレットを刷新し大幅増となった。  
おおむね事業計画通りの実績であり、引き続きサービスが低下しない範囲でコスト削減に取り組んで欲しい。今後コロナ禍が落ち着き次第、実地での広報活動に引き続き注力する必要がある。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。計画比は事業計画(当初)と比較する。  
 ※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

2. 経営分析指標

評価指標	R3年度実績	事業計画 (当初)	事業計画 (変更後)	R4年度実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項(変更理由等)
事業収支(C) (収入(A)-支出(B))	6,180,478	311,334	-	6,864,471	111%	2205%	
収益率 (事業収支(C)/収入(A))	5.8%	0.3%	-	6.1%	105%	2091%	
利用料金比率 (利用料金収入/収入(A))	50%	51%	-	52%	104%	102%	
人件費比率 (人件費/支出(B))	39%	38%	-	38%	97%	101%	
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出(B))	14%	16%	-	15%	113%	97%	
〈現状分析・課題〉 事業収支は黒字であり、満室となったことから、安定的な経営が行われているものと考えられる。収入の中でも利用料金収入が半分程度を占めており、今後も入居率の維持及び機器利用の向上に努める必要がある。							

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。計画比は事業計画(当初)と比較する。  
 ※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

評価(③財務状況)	A	<b>【評価基準(③財務状況)】</b> 収益率(事業収支/収入合計) A: 0%以上 B: -5%以上、0%未満 C: -5%未満
-----------	---	--

III. 財務状況の確認・評価 取組改善案	収支は黒字で安定的な経営が行われ、共用機器の利用増加も図られている。引き続きサービスを維持しながら支出の抑制に努め、効率的な運営を行っていく必要がある。
--------------------------	--

※「III. 財務状況の確認・評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(令和5年度)の主な取組改善案を記入すること。

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入-支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支/収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入/収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるのかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。

IV. 総合評価

1. 目標

評価項目	評価指標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標設定の考え方	
成果指標	①利用状況	入居部屋数	16室	16室	16室	16室	全16部屋中の入居数
	②満足度	満足度	80%	80%	80%	80%	すべてのアンケート結果の平均
財務指標	③財務状況	収益率	0.4	0.4	0.4	0.4	直近の事業計画

2. 評価結果

評価項目	評価指標	R3年度	事業計画 (目標値)	R4年度		現状分析・課題	評価 (点数)	取組改善案	R5年度 目標値		
				前年比	計画比						
成果指標	①利用状況	入居部屋数	15室	16室	16室	107%	114%	事業拡大による工場移転及び振興センターへの事業集約にともない計2社退去したが、3社新規入居し満室となった。	S (20)	今後とも企業誘致・機器利用促進等を積極的に行う必要がある。	16室
	②満足度	満足度	93%	80%	92%	99%	115%	全般的に入居者からの満足度も高く、コミュニケーションも十分図られていると考えられる。今後も入居率の向上に努めていく必要がある。	S (20)	改善要望は指定管理者と情報交換を行い優先順位をつけて、随時修繕等の対応を実施していく必要がある。	80%
財務指標	③財務状況	収益率	5.8%	0.3%	6.2%	106%	2121%	事業収支は黒字であり、満室となったことから、安定的な経営が行われている。今後も入居率の維持及び機器利用の向上に努める必要がある。	A (5)	引き続きサービスを維持しながら支出の抑制に努め、効率的な運営を行っていく必要がある。	0.4
活動指標	④重点取組事項	相談等の件数	212件	170件	122件	58%	72%	昨年度は新型コロナウイルスの影響により事業見直し等の相談が多かった。今年度はコロナ禍が落ち着き相談件数が減少し、目標値を下回った。	B (0)	今後は利用者からの聞き取りを行うなど、課題やニーズ把握に努める必要がある。	160件
総合評価		コロナ禍の状況の中、入居率を維持し稼働率を向上させたことは、指定管理者の広報活動等に起因すると考えられる。引き続き積極的な企業誘致及び入居企業の事業拡大に取り組む必要がある。						S (45)			

※重点取組事項の「評価指標」には具体的な取組内容を記載すること。

※「総合評価欄」には、モニタリングの実施結果に基づき、施設の管理運営が適正に行われているか所見を記載すること。

※「現状分析・課題」、「取組改善案」は6-I～IIIから転記する。

※「令和5年度目標値」は、「取組改善案」を踏まえ、現年度の目標を可能な限り数値目標として設定する。

【評価基準】

①利用状況

目標値に対する達成率

- S : 110%以上、もしくは満室
- A : 100%以上、110%未満
- B : 80%以上、100%未満
- C : 80%未満

②満足度

総合評価における満足度（各評価項目の平均値）

- S : 90%以上
- A : 80%以上、90%未満
- B : 70%以上、80%未満
- C : 70%未満

③財務状況

収益率（事業収支／収入合計）

- A : 0%以上
- B : -5%以上、0%未満
- C : -5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価

- S : 目標を大きく上回る
- A : 目標を概ね達成
- B : 目標を下回る
- C : 目標を大きく下回る

【各評価項目点数】

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	-	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

【総合評価基準】

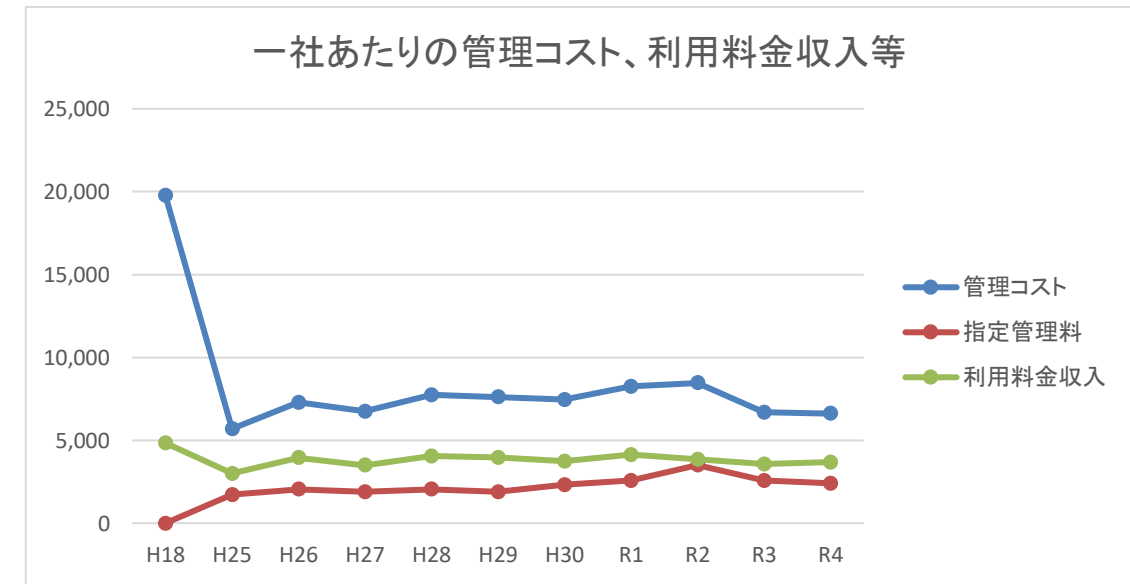
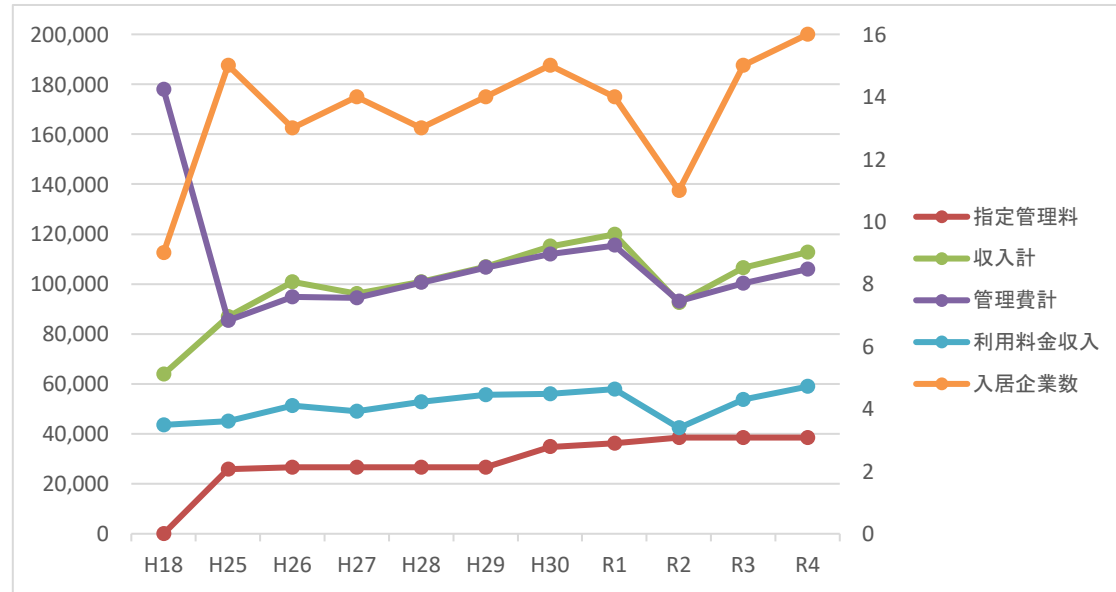
総合評価基準	
S	40点以上 <small>かつ各評価項目においてC評価がないこと</small>
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

経営状況分析シート【沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター】

指標	単位	直営				指定管理																
		H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
成果指標	入居企業数	社	5	7	9	9	10	11	11	14	12	14	15	13	14	13	14	15	14	11	15	16
	入居部屋数(全16室) 目標	部屋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	16	14	14	15	13	14	16
	実績	部屋	10	12	14	14	15	16	16	16	16	15	15	15	15	16	16	16	15	11	15	16
	目標比	%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	94%	100%	114%	114%	100%	85%	107%	100%
	H18比	%	-	-	-	-	107%	114%	114%	114%	114%	107%	107%	107%	107%	114%	114%	114%	107%	79%	107%	114%
入居率	%	62.5%	75.0%	87.5%	87.5%	93.8%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	93.8%	93.8%	93.8%	93.8%	100.0%	100.0%	100.0%	93.8%	68.8%	93.8%	100.0%	
財務指標	指定管理料	千円	0	0	0	0	39,941	39,941	39,700	31,473	31,473	31,473	25,873	26,612	26,612	26,612	26,612	34,800	36,160	38,530	38,530	38,530
	県負担割合(指定管理料/管理費計)	%				0%	40%	39%	36%	30%	32%	33%	30%	28%	28%	26%	25%	31%	31%	41%	38%	36%
	利用料金収入	千円			48,120	43,562	64,281	45,920	48,490	47,477	45,999	48,971	45,095	51,334	49,007	52,748	55,573	56,012	57,944	42,380	53,687	58,942
	利用料金比率(利用料金収入/収入計)	%			100%	68%	50%	40%	40%	46%	46%	49%	52%	51%	51%	52%	52%	49%	48%	46%	50%	52%
	自主事業収入等	千円	0	0	0	0	0	0	426	758	394	2,296	1,680	2,989	1,519	3,001	2,449	1,618	3,470	1,454	2,559	3,089
	水道光熱費(入居者)	千円				20,294	24,805	29,290	31,540	24,042	21,260	16,286	15,349	19,706	18,698	18,185	21,988	22,391	22,044	9,994	11,457	11,967
	塵芥料	千円	0	0	0	0	0	145	185	224	217	252	279	262	272	261	285	255	267	195	264	267
	収入計	千円	0	0	48,120	63,856	129,028	115,296	120,341	103,974	99,344	99,278	86,941	100,905	96,106	100,808	106,907	115,076	119,885	92,553	106,497	112,795
	管理費計	千円				177,988	101,099	102,547	109,250	104,054	98,802	96,776	85,430	94,847	94,392	100,585	106,603	111,991	115,464	93,126	100,316	105,931
	収支	千円	0	0	48,120	-114,132	27,928	12,749	11,091	-80	542	2,502	1,510	6,058	1,714	222	304	3,085	4,421	-573	6,181	6,864
収支/収入計	%			100.00%	-178.73%	21.65%	11.1%	9.2%	-0.1%	0.5%	2.5%	1.7%	6.0%	1.8%	0.2%	0.3%	2.7%	3.7%	-0.6%	5.8%	6.1%	
/単位	一社当たり管理コスト	千円	0	0	0	19,776	10,110	9,322	9,932	7,432	8,233	6,913	5,695	7,296	6,742	7,737	7,614	7,466	8,247	8,466	6,688	6,621
	一社当たり指定管理料	千円	0	0	0	0	3,994	3,631	3,609	2,248	2,623	2,248	1,725	2,047	1,901	2,047	1,901	2,320	2,583	3,503	2,569	2,408
	一社当たり利用料金収入	千円	0	0	5,347	4,840	6,428	4,175	4,408	3,391	3,833	3,498	3,006	3,949	3,500	4,058	3,969	3,734	4,139	3,853	3,579	3,684

※施設の特性に応じて、経営状況の分析に適した指標の追加・削除や、表示方法の修正を行うこと。

※グラフは直近10年間の実績で作成すること。指定管理者制度導入前に直営の期間がある施設については、指定管理者制度導入直前1年間のデータも含めて作成すること。



実績変動の要因分析

令和4年度	事業拡大による工場移転及び沖縄バイオ産業振興センターへの事業集約にともない計2社退去したが、3社新規入居し満室となり利用料金収入増となった。また、機器利用料収入が増加したことも利用料金収入増の要因である。
令和3年度	コロナ禍により実地での広報活動はほとんどできていないが、これまでの誘致活動により入居率が大幅に回復したことで利用料金収入増となった。
令和2年度	事業拡大等に伴う入居企業の退去や、コロナ禍により施設の外部利用を制限していた時期もあり利用料金収入減となった。
令和元年度	近隣に自社工場建設により1社退去したが、利用料金収入は微増となった。また、1社大きい案件が有り受託加工試験(自主事業)が増えたため収入計増となった。

沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター令和4年度 入居者アンケート様式

Q1. センター施設・設備の維持管理(点検・修繕)に関する満足度をお答え下さい。また、その理由や改善点等も併せてお答え下さい。

満足  やや満足  やや不満  不満 理由( )

Q2. センターの清掃や衛生管理に関して満足度をお答え下さい。また、その理由や改善点等も併せてお答え下さい。

満足  やや満足  やや不満  不満 理由( )

Q3. スタッフの接客対応(挨拶、言葉づかい)について満足度をお答えください。また、その理由や改善点等も併せてお答えください。

満足  やや満足  やや不満  不満 理由・改善点( )

Q4. 施設(機器・会議室等)を利用する際の手続き(利用申込書の記入・提出、web での予約等)についての満足度はいかがですか。また、その理由や改善点等がありましたら併せてお答えください。

満足  やや満足  やや不満  不満  手続きしたことが無い 理由・改善点( )

Q5. センター設置機器(分析機器・実証機器)に関する満足度をお答えください。

満足  やや満足 →Q6.へ  やや不満  不満 →Q7.へ

利用したことが無い →Q8.へ

Q6. 「満足」、「やや満足」を選んだ方は、理由を下記よりお選びください。(複数回答可)

- 機器の種類が豊富  スペックに満足している
- 分析・実証機器に減免制度がある  予約システムによる利用が可能
- 分析機器が24 時間利用可能  メンテナンスが行き届いている
- 操作指導を実施している  実証機器で試作ができる  分析に関する相談ができる
- 加工に関する相談ができる  その他( )

Q7. 「不満」、「やや不満」を選んだ方は、理由を下記よりお選びください。(複数回答可)

- 使いたい機器がない  スペックが足りない  機器が古い
- 分析・実証機器の利用料金が有償  予約システムが使いづらい
- 希望の時間に使えない  メンテナンスが行き届いていない  操作指導が不十分
- その他( )

Q8. 「利用したことがない」を選んだ方は、理由を下記よりお選びください。(複数回答可)

- 分析・加工の担当ではない  業務に必要ない
- 自社研究室内に必要な機器がある  使いたい機器・仕様が無い
- 機器の使い方が分からない  サンプルの前処理方法などが分からない
- その他( )

Q9. センター設置の機器(分析機器・実証機器)でアップグレードを希望する機器や、センターに設置していない機器で利用したい機器はありますか。あれば機器名をご記入下さい。

ある  ない 機器名( )

Q10. 今年度、センターで開催したセミナー・講習会についての満足度をお答え下さい。

満足  やや満足  やや不満  不満  参加していない 理由( )

Q11. 今後、開催してほしいイベントやセミナー等ありましたらお答え下さい(複数選択可)。

機器の操作説明(機器名 : )  機器の概要・分析方法等(機器名 : )

機器の新製品紹介・PR 等  商品開発関連  品質管理関連  知財・特許関連

県内研究シーズ紹介(OIST・琉大等)  県外研究シーズ紹介(JST・産総研等)

人材育成関連(研究・技術者)  人材育成関連(営業)  助成金等の紹介

マーケティング関連  マッチング支援(研究)  マッチング支援(営業)

異業種交流会  入居者交流会  経営関連(法務、税務、労務等)  その他( )

Q12. センターでは、入居企業支援として、下記のサービス・支援を実施しています。有益と思うものをお答え下さい。(複数回答可)

**【利用料減免等】**

賃料の25%減免措置(創立5年未満)  研究機器の無償利用(入居5年以内)

実証機器の25%減免措置

**【機器利用】**

分析機器の操作指導  分析相談  実証機器の操作指導  加工相談

受託分析  受託加工  セミナー等の実施

**【入居企業のPR】**

企業案内リーフレット作成  企業紹介パネル設置  展示会等案内  マッチング

**【その他】**

その他( )

Q13. Q12 の選択肢に記載したサービス・支援内容についての満足度をお答えください。また、その理由も併せてお答えください。

満足  やや満足  やや不満  不満 理由( )

Q14. 現在、サポート(支援)が必要と思われる項目についてお答え下さい(複数選択可)。

研究開発  商品開発  知財化  事業化  製造  流通・販売  広告

資金調達  人材調達  人材育成  品質管理  情報収集  その他( )

Q15. センターや沖縄県に対して、ご要望やご意見等がありましたら、ご自由にご記入をお願いいたします。



料金徴収フロー図

賃料

バイオセンター賃料

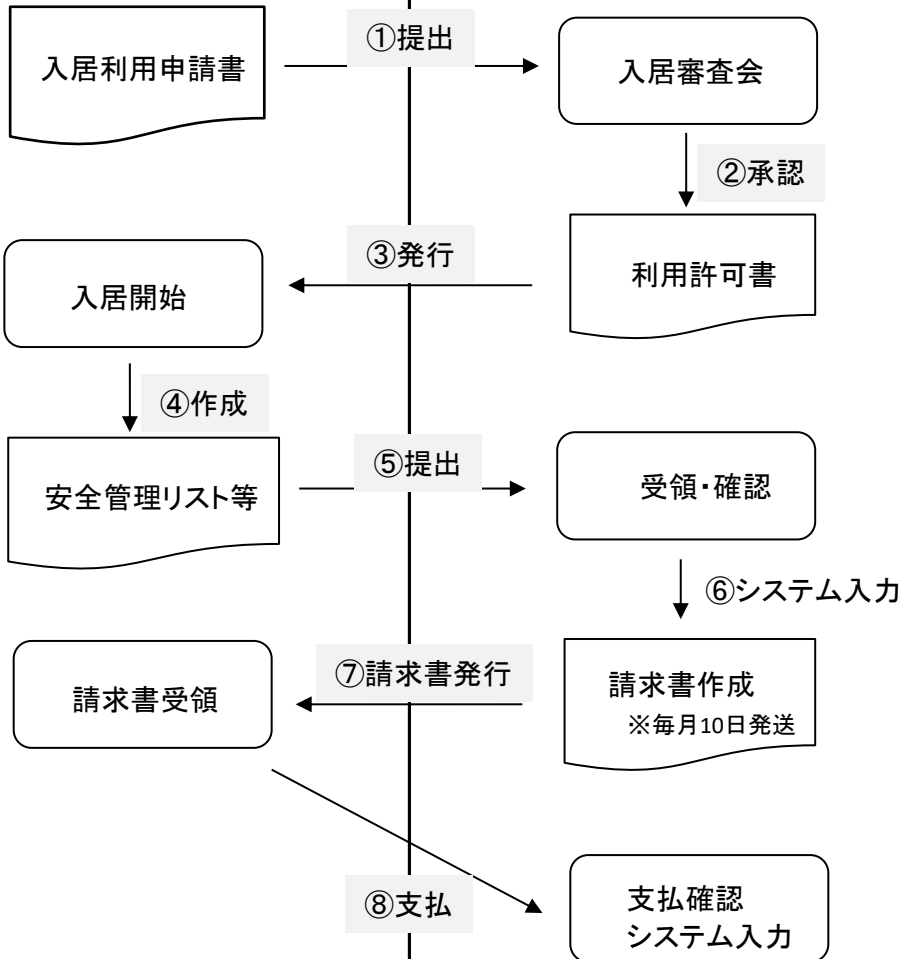
施設の名称

沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター

利用料金の種類と金額: 別紙参照

入居者

指定管理者



料金徴収フロー図

会議室・機器

会議室・機器利用

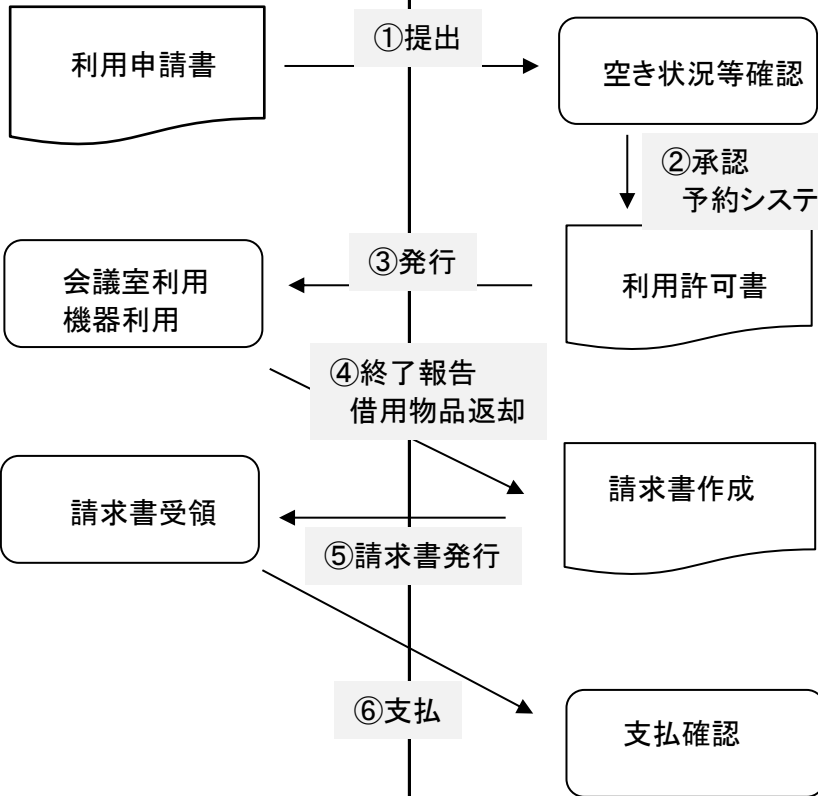
施設の名称

沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター

利用料金の種類と金額: 別紙参照

利用者

指定管理者



料金徴収フロー図

会議室・機器

会議室及び機器利用

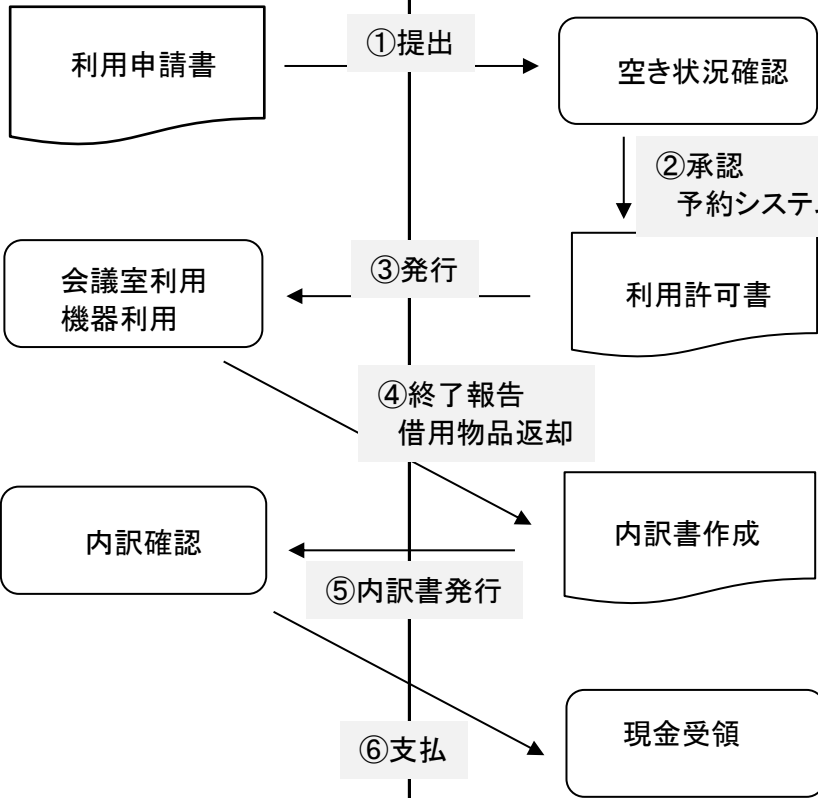
施設の名称

沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター

利用料金の種類と金額: 別紙参照

利用者

指定管理者



# 沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター利用料金表

2019年10月1日以降

## 研究室

2,200円 (1平方メートル1月につき)

## 実証室

830円 (1平方メートル1月につき)

### 分析機器

分析機器	利用料金 (円/時間)
核磁気共鳴装置 (NMR)	3,520
タンデム型質量分析装置	3,090
液体クロマト四重極質量分析装置	5,830
飛行時間型タンデム質量分析装置	7,340
GC-質量分析装置	1,260
超高速液体クロマトグラフ	1,110
高速液体クロマトグラフ	940
光散乱検出高速液体クロマトグラフ	1,890
アミノ酸分析装置	850
分取高速液体クロマトグラフ	640
キャピラリー電気泳動装置	600
タンパク質解析用高速液体クロマトグラフ	1,910
自動細胞解析装置	3,010
蛍光マイクロプレートリーダー	330
DNAシーケンサー	3,020
蛍光イメージスキャナー	170
バイオアナライザー	710
リアルタイムPCR	240
可視・紫外分光光度計	170
超微量分光計	170
蛍光分光光度計	620
FT-赤外分光光度計	580
円二色性分散計	2,890
旋光計	670
蛍光顕微鏡	710
走査型電子顕微鏡	420
レオメーター	220
水分活性装置	260
試験研究用凍結乾燥機	250

### 実証機器

実証機器	利用料金 (円/時間)	部屋代 (円/日)
実証用凍結乾燥機	3,960	3,569
小型凍結乾燥機	1,510	3,569
送風定温乾燥機	110	3,569
低温乾燥機 (減圧乾燥機)	270	1,189
回転ドラム乾燥機	230	1,189
粗粉砕機	460	1,687
微粒粉砕機	830	1,687
粉砕機 (気流式粉砕機)	570	1,687
滅菌装置 (レトルト殺菌装置)	1,580	1,189
粉体殺菌装置	2,980	3,569
超高温液体加熱処理装置 (液体殺菌装置)	1,550	3,569
急速冷凍装置	140	1,189
乳化分散機	230	1,189
ニーダー	590	1,687
打錠試験機	1,740	1,687
顆粒機	780	1,687
充填包装機	2,260	1,687
液体充填機	360	1,687
粉末自動充填機	430	1,687
ジャーファーマンター (90L)	2,320	3,569
ジャーファーマンター (600L)	1,040	3,569
培養タンク (1000L)	1,520	3,569
ドラム式製麹装置	2,350	2,739
ディスク型遠心分離機	1,660	3,569
X線異物検出機	320	1,189

※実証機器の利用には別途、電気料金、蒸気料金がかかります。

## 会議室等

会議室等	利用料金 (円/時間)
第1会議室 (スクール形式：40名)	610
第2会議室 (口の字形式：24名)	450
第3会議室	680
小会議室 (6～8名)	110
研修室 (スクール形式：72名)	1,060

## 附属設備等

附属設備等	利用料金 (円/時間)
液晶プロジェクター (スクリーン込み)	1,280
ポータブルアンプ (有線マイク1本込)	500
レクチャーアンプ (研修室のみ)	500
ワイアレスマイク	400
第1会議室冷房	400
第2会議室冷房	290
第3会議室冷房	450
小会議室冷房	80
研修室冷房	710

(注) 料金には10%消費税が含まれます